

中国における
最近のフィールド調査の諸問題
—地球研・オアシスプロジェクトでの経験から—

中尾正義
(総合地球環境学研究所)

オアシスプロジェクトの相手方

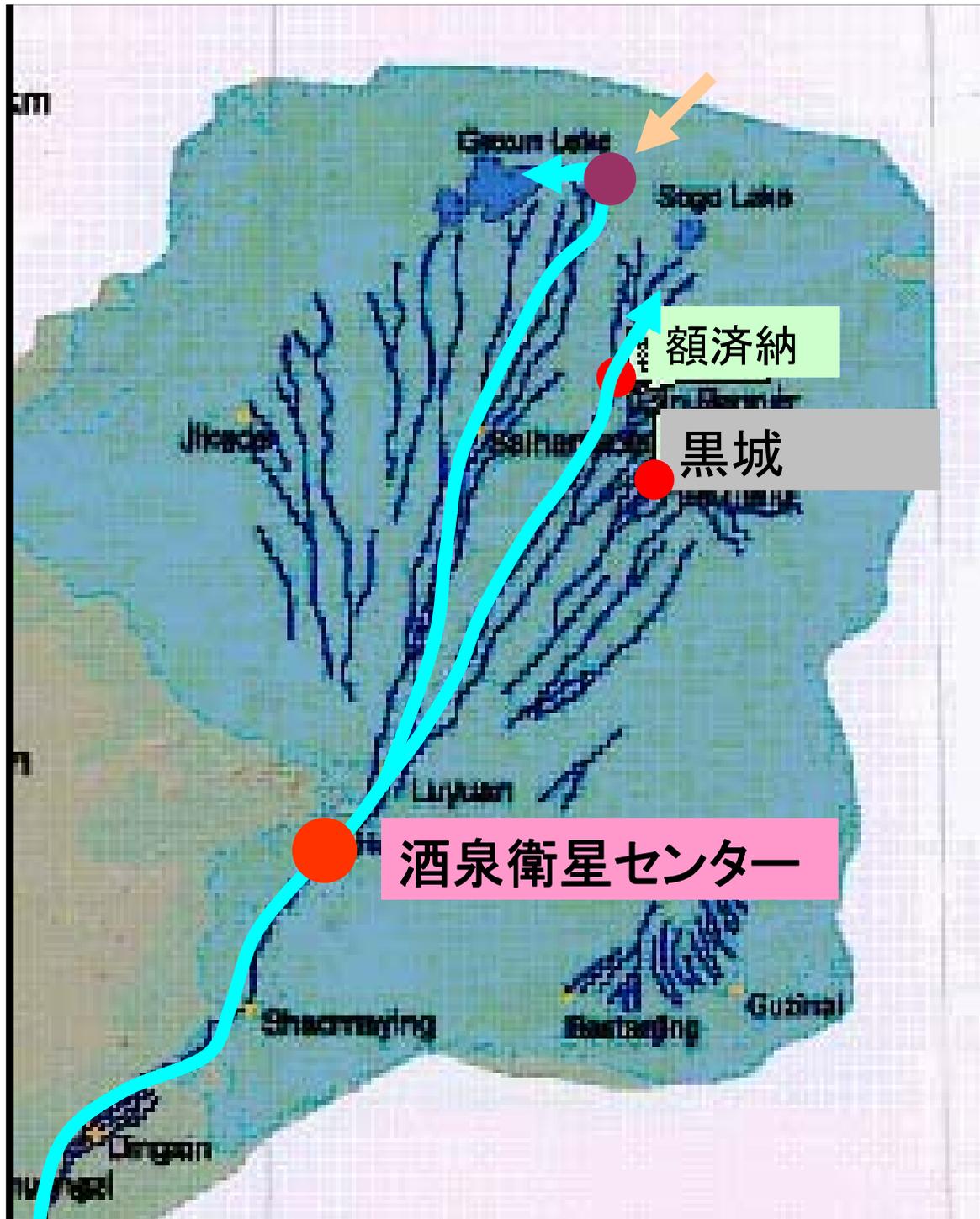
- 考古研究所(フフホト)
- 考古研究所(北京)
- 民族研究所(北京)
- チベット研究所(北京)
- 植物研究所(北京)
- 湖泊研究所(南京)
- 寒区旱区環境与工程研究所(蘭州)
- 内モンゴル林業院(フフホト)
- 生態与地理研究所(ウルムチ)
- 中央民族大学(北京)
- 人民大学(北京)
- 河東師範大学(上海)
- 湖南師範大学(長沙)
- 南京大学(南京)
- 河海大学(南京)
- 蘭州大学(蘭州)

赤字: 何らかの協定書を締結した研究機関

機関によって対応が相当異なる(外国との共同研究の経験)

調査許可の様々

- 正式許可(相手機関に取得依頼)→遅れることが多い
科学院、社会科学院、文物局など、**プラス** 地元自治体、軍
- 地元関係者の許可(地元の軍、公安、自治体など)←重要
それなりのコネクションが必用(ハミ周辺、カラホト周辺)
- 他の機関による許可の解釈の拡大
考古、社会科学調査の許可は難しい
(カラホト周辺:理系調査は比較的楽)



調査許可の様々

- 正式許可(相手機関に取得依頼)→遅れる場合が多い
科学院、社会科学院、文物局など、プラス 地元自治体、軍
- 地元関係者の許可(地元の軍、公安、自治体など)←重要
それなりのコネクションが必用(ハミ周辺、カラホト周辺)
- 他の機関による許可の解釈の拡大
考古、社会科学調査の許可は難しい
(カラホト周辺:理系調査は比較的楽)
- もぐり(旅行社>自己責任による立ち入り)
(生態移民村、文化人類学的聞き取り調査)
どうしても難しい場合
観測、作業の中国側への委託又は中国籍の研究者による
(軍事基地周辺、アンケート調査、聞き取り調査)

試料輸出許可の様々

- 正式許可(相手機関に取得依頼)→取得できない場合がある

機関によって許可申請できるものとできないものがある(他機関への依頼には資金が必要?)

(水:科学院の許可でいけそうという情報あり)

- 他の機関による取得許可の解釈拡大(水→氷)
- もぐり

(相手方による持ち出し>自己責任による持ち出し)

日本での分析を依頼される

→中国国内での分析体制

最近の動き

地方によるばらつき → 統一性

法による整備（特に調査許可）

イリの測量許可の例（GPS）

精度：100m以下は測量

研究資金の充実

中国側からの共同研究提案（調査、輸出許可取得に努力）

その他

Fビザの問題（中国側）

協定書締結 → 許可取得